

## 大学の世界展開力強化事業（平成28年度採択）中間評価結果

|       |  |
|-------|--|
| 大 学 名 | 東京藝術大学   |
| 整理番号  | B-2  |
| 事 業 名 | 日 ASEAN 芸術文化交流が導く多角的プロモーション<br>～協働社会実践を通じた心のインフラと質保証フレームの構築～ |

### 大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

|   |  |
|---|--|
| (総括評価)<br><br><div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</div>   | これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。 |
| (コメント)  |  |
| <p>本プログラムは、東京藝術大学の中長期ビジョンに基づき、カンボジア・ラオス・ミャンマー・ベトナム諸国とタイを代表する8国立芸術大学と連携することで、高等教育機関における芸術教育プログラムを充実させるとともに教育研究に関わる質保証システムを構築し、グローバルに活躍できる芸術系人材を育成することを目的としている。</p> <p>相手大学の教員と学生から成るユニットを構成し、相手大学との間で教員・学生の派遣・受入を行う双方向プログラム等の多様な交流を通して、相互の特色ある芸術文化・技芸を学び合うことで成果を挙げている。共同授業やワークショップ、フィールドリサーチや展覧会の実施など、芸術活動を広範囲に展開しており、東京藝術大学が主導する芸術系大学から成るアートコンソーシアム形成と本事業との連動は、アジアの中でリーダーシップを担っていくものとして期待が持てる。また、教職員の交流は活発に行われており、共同体制でプログラムの企画、運営及び指導を実施することで、双方の教員の観点から学生の活動や成果物の評価が成されている。学生交流についても、派遣・受入ともに目標を上回る実績を挙げている。</p> <p>一方で、若手研究者ネットワークの構築や、相手大学の若手教員を招聘しての教育機会の提供など、中長期的な連携をしていく上で、より柔軟な検討と対策を行うことが望ましい。加えて、芸術・文化教育プログラムに関して、歴史・文化・言語の異なる国々をまたいで質保証システムを構築することは容易ではないことから、その具体化に向けた努力は十分評価できるものの、我が国を代表する芸術系大学の先駆者として、教育としての芸術についてより一層の試みを積み重ねていくことが期待される。</p> <p>最後に、今後も補助期間終了後の継続的な実施を見据えた事業計画の策定と安定的な財源確保に努め、学内及び関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と将来の我が国の更なる発展に向け、積極的に事業を展開していくことが期待される。</p> |  |